

原案市民説明会の報告

開催日時

平成 31 年 1 月 20 日（日）10 時～11 時半

開催場所

永山公民館ベルブホール

主な内容

- ・ 仙仁徑委員による講演「街路樹はパートナー」
- ・ 「街路樹よくなるプラン」改定版（原案）の説明
- ・ 参加者との意見交換

（コーディネーター：沼田副委員長　登壇者：池邊委員長、仙仁委員、曾我委員、野村委員）



参加人数

31 名

主な市民意見

内容	意見に対する市の考え
子供の頃から街路樹に親しむことができるように、子供向けの勉強会や市に対して発信できるワークショップなどを開催してもらいたい	第 4 章 「4.2 方針を実現させるための体制づくり」 (4) 参画する内容に加筆しました。 <u>街路樹に係る市民参画を次世代につなげていくためには、街路樹に興味、関心をもっている子どもたちを増やすことが重要です。たとえば、子ども向けの街路樹の勉強会や行事の開催なども取り組みとして考えられます。</u>
街路樹に QR コード等を貼り付け、それを活用した市民参画手法などを考えていくとよいのではないか	次年度以降の市民参画の取り組みの参考にします。
道路と公園を一緒に管理してはどうか	緑量の適正化等の案件については、公園緑地課とも調整を行いながら、取り組んでいきます。
街路灯の暗がり解消のために街路樹が伐採されていることがある。街路灯のデザイン等を変更すればよいのではと思う。	街路灯の高さ、間隔、照度等の基準を満たす必要があるので、対応することは難しいと考えています。
道路のリニューアルを検討・計画した際は、早めに地域に提示してもらえると市民からも意見が出しやすい。	次年度以降の市民参画の取り組みの参考にします。